



# シリーズ 活躍する卒業生

教職支援センターの前身の教職教育部が発足して10年が経ち、多くの卒業生が教育現場で活躍しています。毎回テーマを決めて、卒業生の活躍を紹介します。

## ～ vol.8 教育関連業務編 ～



アライドテレス株式会社

牛島 英里香 さん

理学部 物理学科 平成26年度卒業

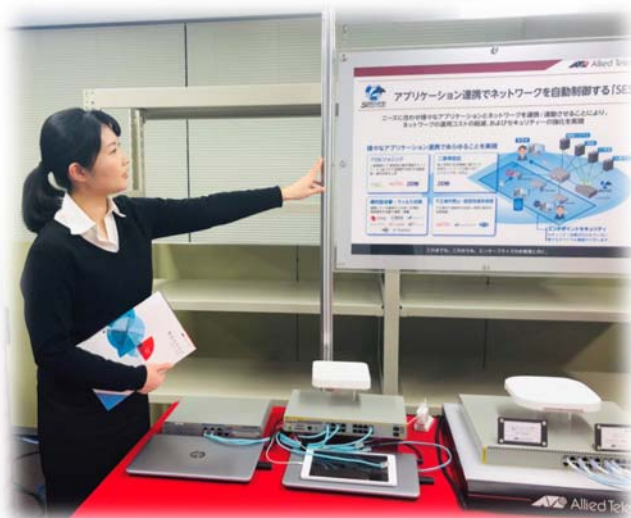


大学を卒業して4年が経ちました。小学生の頃から中学校の先生になりたいと思っていた私は大学で教職課程を履修しましたが、大学3年のときに自分の進路を考えて一般企業へ就職することを決めました。現在、ネットワークスイッチやICTサービスを構築してお客様へ提供する会社に勤めています。

正直、絶対に教員になりたいという思いで教職を学び始めたわけではありません。大学卒業の進路決定時に教員になる可能性を失いたくないことと、教員になるための授業を履修し資格を取得したかったことが本当の理由でした。結果として今、教員にはなっていませんが、その頃に学んだことや考えていたことが無駄ではなかったと感じています。

お客様へ自分の言葉で伝える仕事がしたい、と思って今の会社へ就職し現在は営業として働いており、職種柄お客様と会話することが多くあります。相手にわかりやすく説明するにはどうすればいいか、説明するためにどのような資料を使うか、また自分で作成するか。教職課程の授業や教育実習、履修生みんなで意見を出し合いながら行ったグループワークで生徒にどうやったら伝わるかを考えながら試行錯誤していたあの頃の経験が活かされています。

また近年学校ではICTを活用した授業を行い、生徒一人ひとりが自分の可動式コンピュータとしてPCタブレットを持つ学校も増えてきていると思います。そのICT環境を整えるために必要な学校に最適な文教ネットワークを私の会社でも提案しています。ネットワーク構築時に学校へ訪問した際は、生徒から元気よく「こんにちは」と挨拶をしてくれたりしました。教員にはなりませんが、こんなにも教育分野に関わるとは思っていませんでしたので、非常に縁を感じて仕事しております。これからより教育分野でのICT普及を目指して、お客様にネットワークを提案できるよう勉強してまいります。



## 国立研究開発法人科学技術振興機構 日本科学未来館 科学コミュニケーター



白石 泉 さん

農学部 食料生産科学科 平成27年度



信州大学農学部を卒業後、他大学大学院に進学し、平成30年4月よりお台場にある日本科学未来館で科学コミュニケーターとして働いています。学部時代に教員免許および初級CST（コア・サイエンスティーチャー）を取得しました。大学・大学院と科学の専門性を高めるなかで、学校教育と科学、研究の世界をつなぐ仕事がしたいと考えるようになり現在の職についています。

教職を目指す学生の皆さんにとっては変わり種の進路かもしれません。教員以外の立場から学校教育に関わろうと挑戦している一つの例として考えていただければと思います。

現在の私の主な業務は、展示フロアでの来館者との対話や実演、そして研究者と連携したイベントの企画実施、学校向けプログラムの実施等です。展示フロアでの活動はその場その場で相手と一から関係をつくり、そしてその関係性の中から科学や未来について考える場を作っていくことになります。この1年私が特に意識をしてきたことは、情報発信が自身の誠実さにかかっているということです。科学コミュニケーターが取り上げる科学の話題は様々で教科書があるわけではありません。一つの事象をとっても様々な視点があり、受け取り手の捉え方も多様です。自分は責任をもって何を発信できるのか、自分の考えはどうか、いつも気かけながら業務に取り組んだ1年でした。

こうして振り返ると、教育的活動はそれほど行ってきておりませんが、教職課程やCST講座での子どもたちに教える実践の機会があったことや、博物館や地域と連携した学習支援活動等の様々な現場を知ることができたことなど、一つ一つの経験が折に触れこの1年の大きな助けとなっていました。

現職の最新の科学の話題や専門性の高い科学的情報を読み解き、社会的視点からそうした情報を再構築する能力は、学術研究と社会を見据えた科学コミュニケーションスキルと言えるかもしれません。こうした科学コミュニケーターとしての経験を積みつつ、博学連携や課題研究といった学校教育を見据えた科学コミュニケーション活動の実践を引き続き目指し頑張っていきます。



## 教職支援センター1～3月の動き

- 教員免許更新支援センター会議(1/29)、
- 教員免許更新支援センター運営委員会(2/1)、
- 教職セミナー(2/5)、
- CST附属松本中学校参観実習(2/18-2/22)、
- 長野県総合教育センターとの連絡協議会(2/20)、
- 教職教育委員会学芸員養成課程実施部会(2/27)、
- 教職教育委員会(2/28)、○初級CST認定審査(3/1)、
- 生坂村教育委員会との連絡会議(3/1)、
- CST養成プログラム実施委員会(3/19)



賑わう教職セミナーの様子  
(二月五日)

# 新スタッフ紹介



はじめまして。4月から教職支援センターに着任しました「枡 千晶(ます ちあき)」と申します。教育心理学や発達心理学、教育相談といったヒトに関することを扱う授業を担当させていただきます。これまでは障害児やその家族のカウンセリング、サポートについて研究したり、実際に発達に遅れや偏りのある子どもたちへの指導を行ったりしてきました。たくさん子どもたちや保護者に出会う中で感じたことは、障害の有無や生じている課題、問題だけではなく、その子自身、困り感をかかえている保護者や指導者自身をみていくことの大切さです。

教職に就いても就かなくても、大学卒業後に社会に出ると、年齢、性別、国籍、性格、価値観等々、自分とは異なる人とたくさん出会っていくと思います。自分の子どもを育てる親になる人も多いでしょう。授業では、そんな学生の皆さんが多様な人と関わっていくとき、人を育てていくときに、ヒントとなる視点や基本的な知識などについて、少しでも頭の中の引き出しに残るようにお伝えしたり、一緒に考えたりできれば、と思っています。

そして、学生の皆さんが社会に出てたくさんの人の前進を後押しし、自身もいきいきと生きていってくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

授業や研究を通して、すべての人(多数派の人も、少数派の人も)が心身ともにいきいきと生きることができる社会を創っていくことがわたしの夢の一つです。まだまだ若輩者ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

(教職支援センター助教 枡 千晶)

## スタッフ一同

### 専任教員



左から 荒井、庄司、小山、田村、枡、河野

### 特任教員



下澤、玉川



桜井

西牧、小松

### 編集後記

新年度を迎え、今年も新入生対象の教職ガイダンスには、たくさんの1年生の方が参加してくれました。教員を目指す人もそうでない人も、卒業の時には、「教職の授業を取ってよかったなぁ」としてもらえよう、また気持ちを新たに頑張りたいと思います。教職支援センターでは、4月から新スタッフとして枡先生が加わり、さらに充実した体制で臨んで参ります。(広報担当 河野桃子)

